

令和元年度公的研究費に関する管理・監査状況報告書

1. 科学研究費補助金・学術研究助成基金助成金

(1) 監査実施時期

- ・ 書類監査：平成31年4月24～令和元年5月13日
- ・ 実地監査：令和元年6月25日・27日・7月3日

(2) 監査実施概要

・ 書類監査

経費の執行に偏りのある案件や特定の業者との取引が多い案件等に重点を置き収支簿及び証憑類の全数確認を行った。

・ 実地監査

平成30年度研究代表者として科研費の交付を受けた研究課題44件の10%以上にあたる5件（科学研究費補助金1件、学術研究助成基金助成金4件）について実地に聞き取りを行った。

(3) 監査実施結果

購入物品の使用状況を確認する外、科研費のほか他の外部資金執行状況について経費合算・混同等の有無に着目し実地に聞き取りを行った。また、短期雇用者等があった4件（6名）について勤務実態について聞き取りを行った。

監査の結果、預け金、目的外使用等の不正使用の兆候は認められなかった。

短期雇用されている研究補助員2名の勤務実態が補助金申請対象と齟齬している可能性が認められたことから担当課に指導し、確認の上、実績報告を訂正させた。

2. 全教員へのコンプライアンスに関わる注意喚起

教授会（拡大）にて次の事項について紹介する際、学長よりコンプライアンスに関する注意喚起等を継続して行った。

(1) 平成31年4月11日「ヒト倫理審査委員会の2019年度の体制について」

(2) 令和元年6月14日「安全保障貿易管理に関する実施事項の徹底について」

なお、3月に「コンプライアンス推進委員会報告」を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ4月に延期され、新着任の教職員にも併せて周知することとされたため、今年度の実績に計上されていない。